

Help

me

now

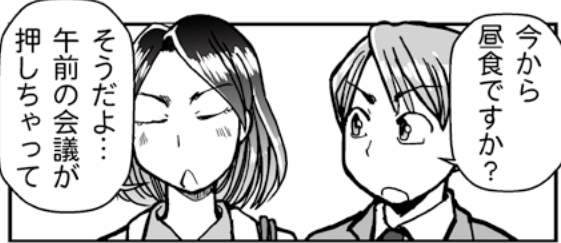


キミは
HMNを
ONにした?
Help me now

あ…

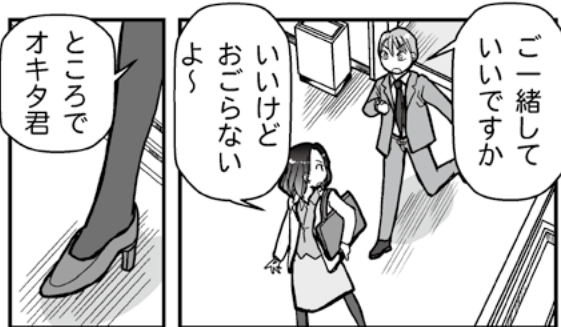


あ…
ユミ先輩



そうだよ…
午前の会議が
押しちゃって

今から
昼食ですか?



ところで
オキタ君

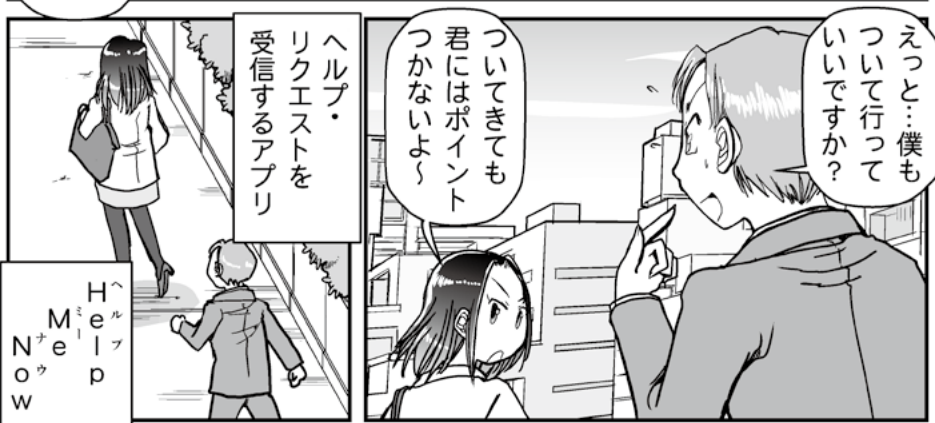
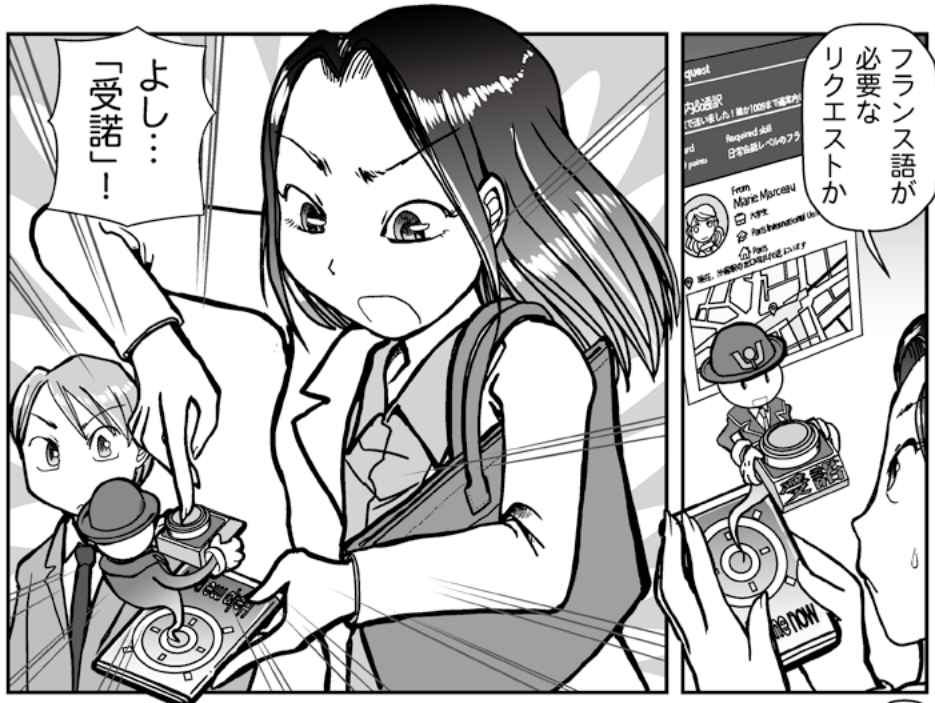
いいけど
おごらない
よ

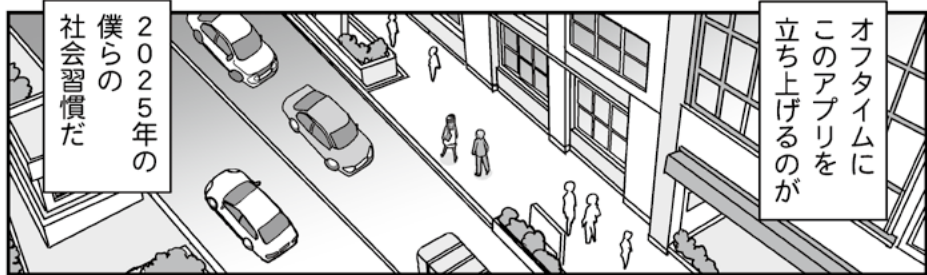
ご一緒に
いいですか

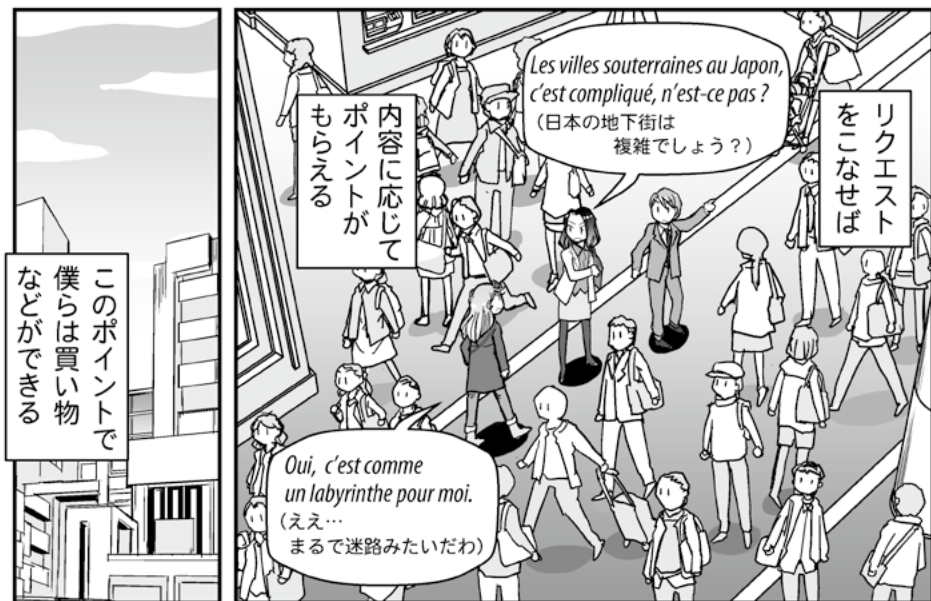
Help me now

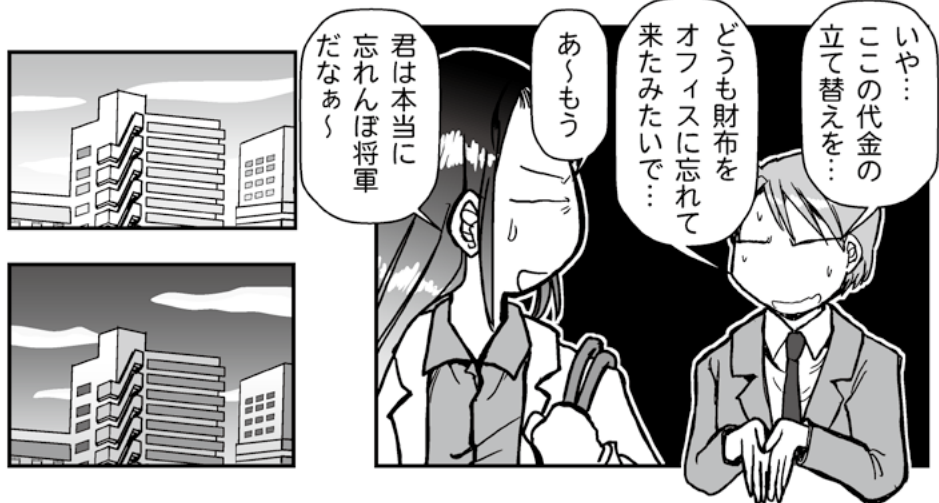
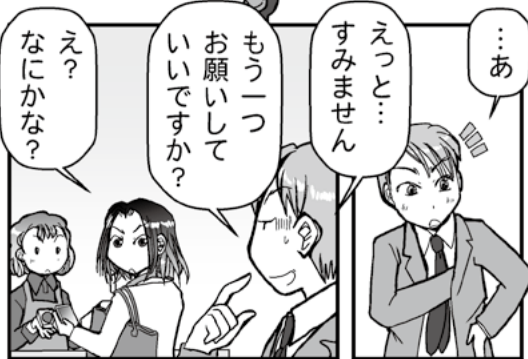


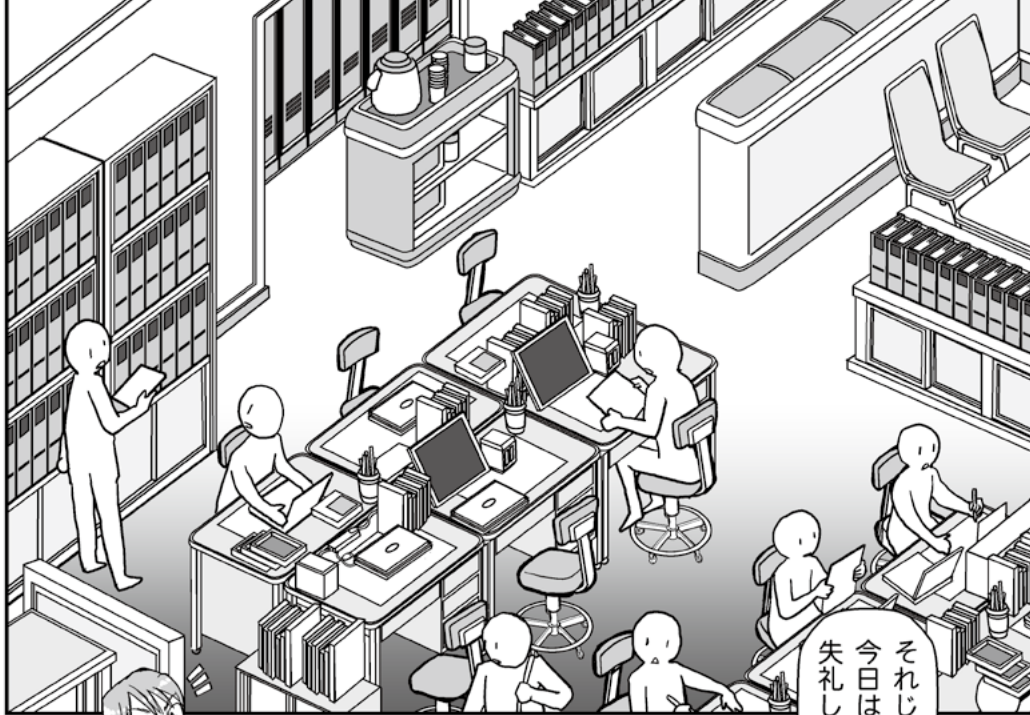












それじゃあ
今日はお先に
失礼します



ああ…
オキタ君

明日の資料は
ちゃんと
持った?

え?
明日の…



朝一で
立ち寄り
でしょう?

すみません
うっかりして
ました

忘れんぼ
大王め!



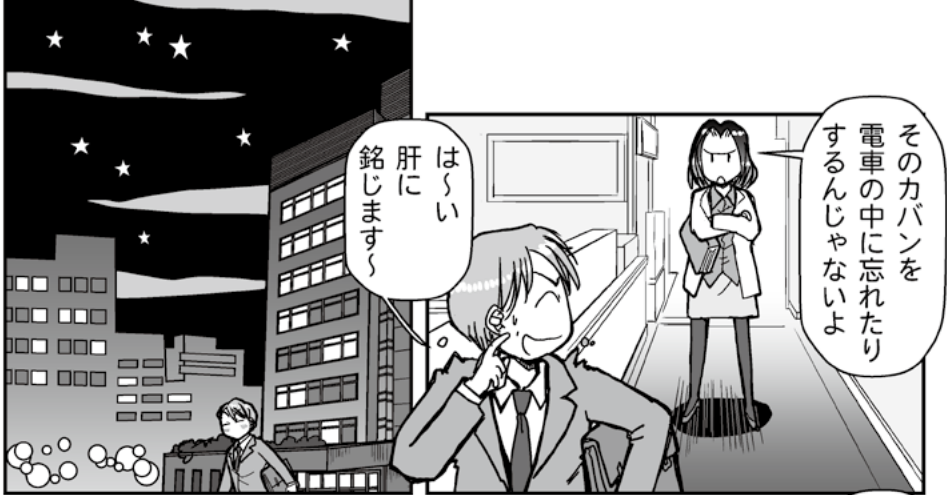
ああ!
区役所との
打ち合わせ
でしたっけ?

自宅

区役所

AM 9:30

まったく
…君は





HELP ME NOW
普及し
はじめた頃

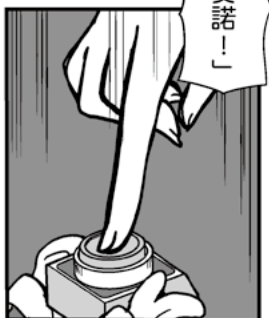
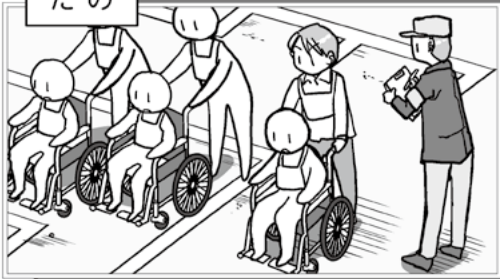


やった！
車椅子介助の
リクエストだ！

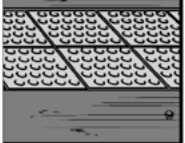


僕は
鉄道会社の
募集に応じて

車椅子介助の
研修を受けた

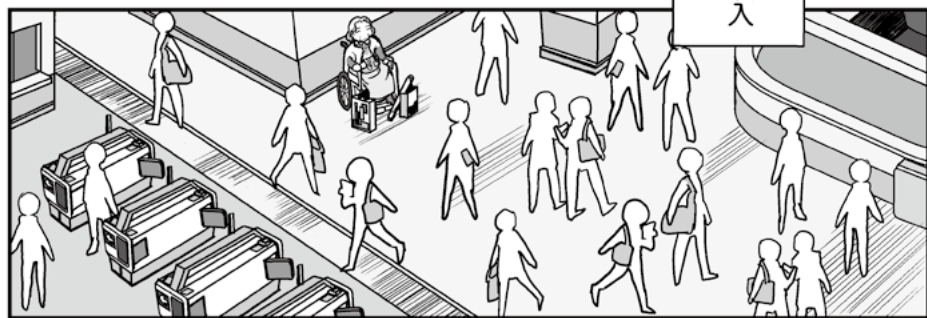


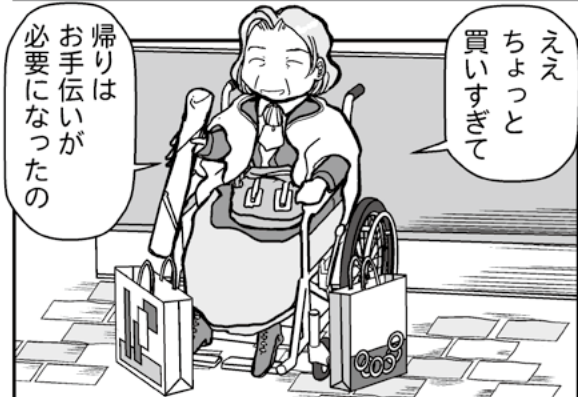
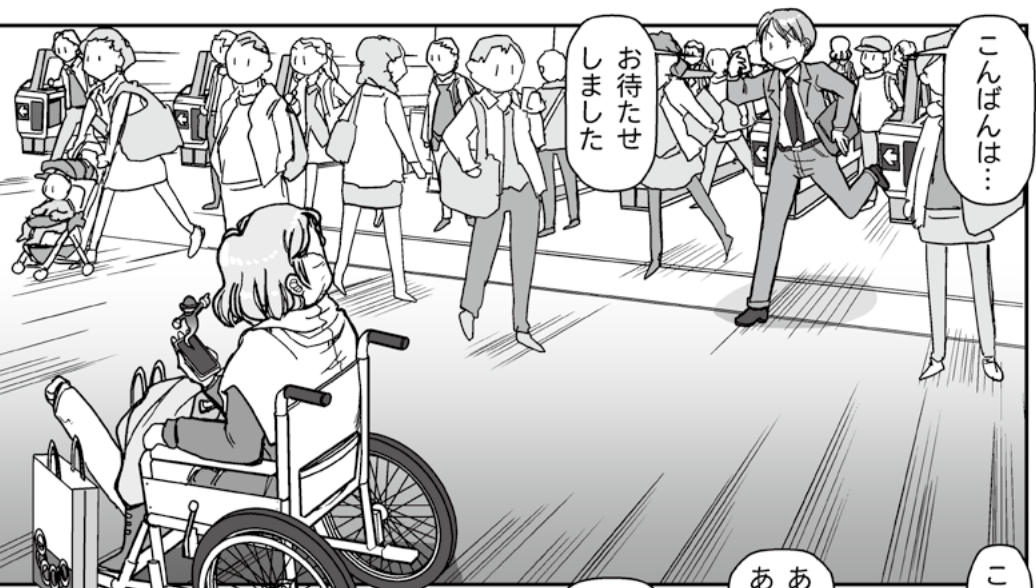
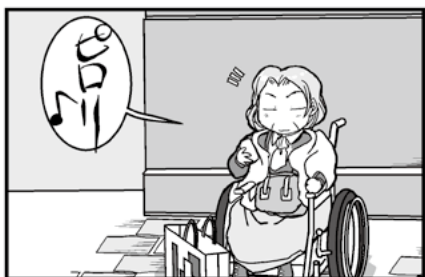
「受諾！」

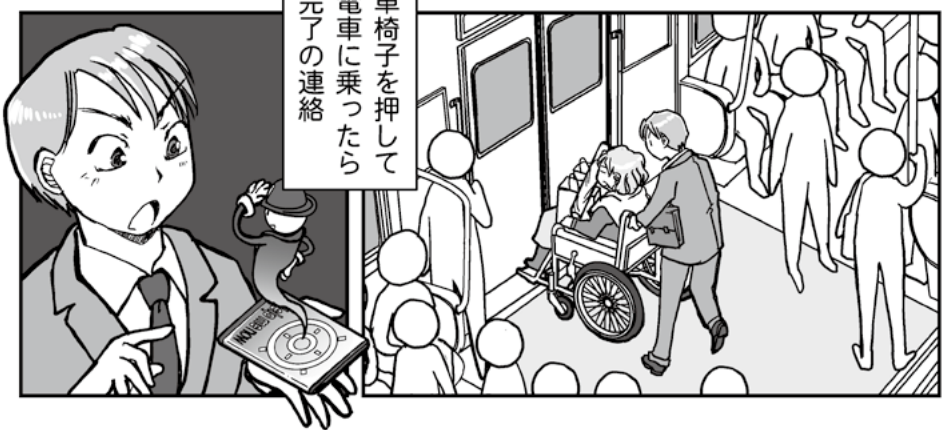
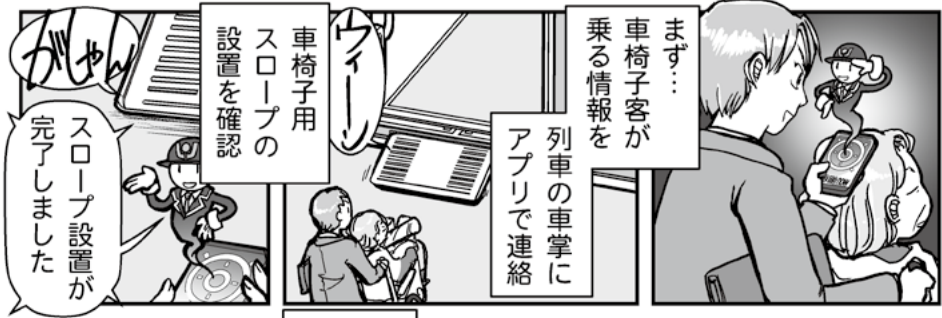
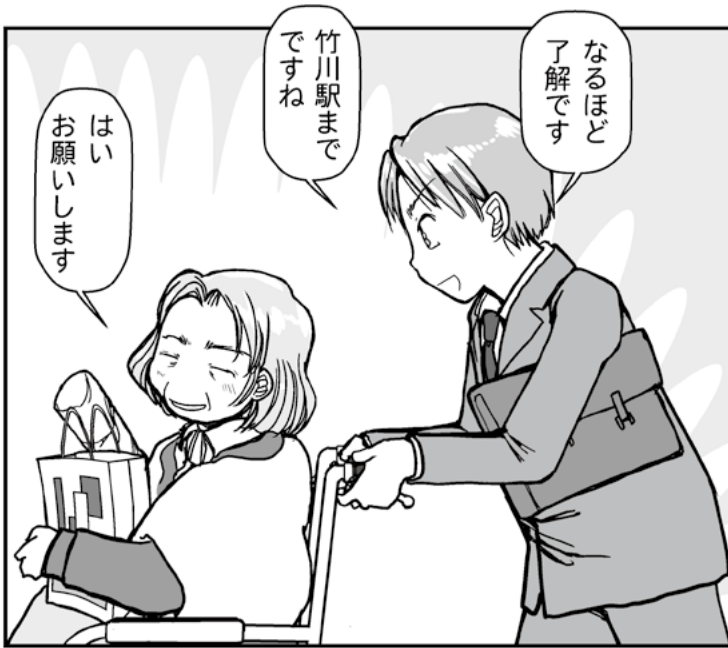


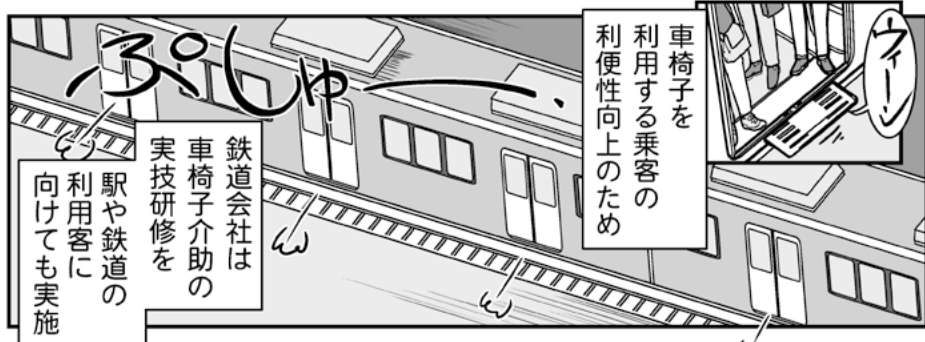
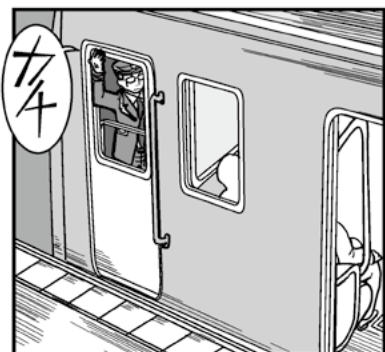
このスキルを
必要とする
リクエストは

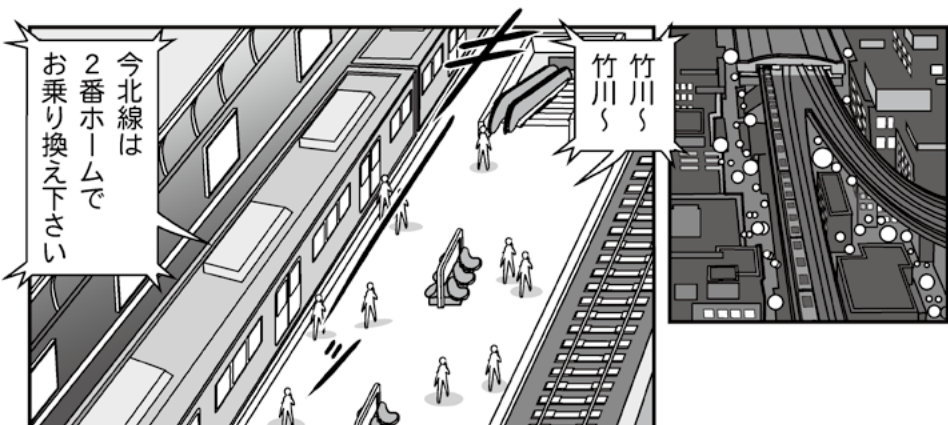
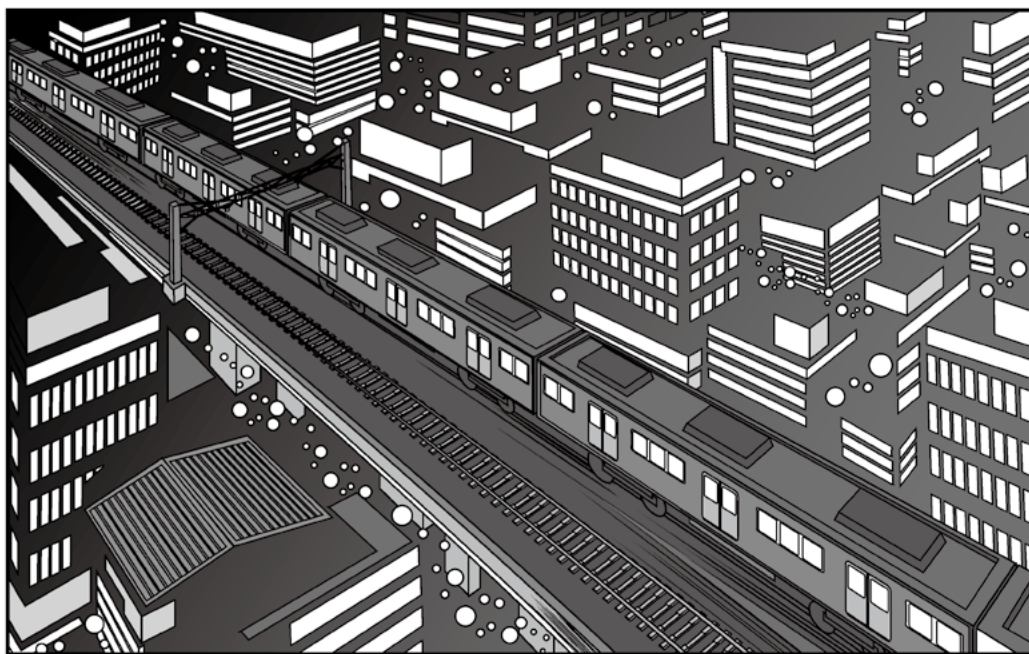
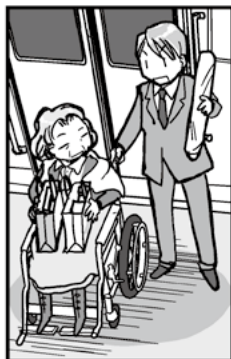
いい
臨時収入
になる

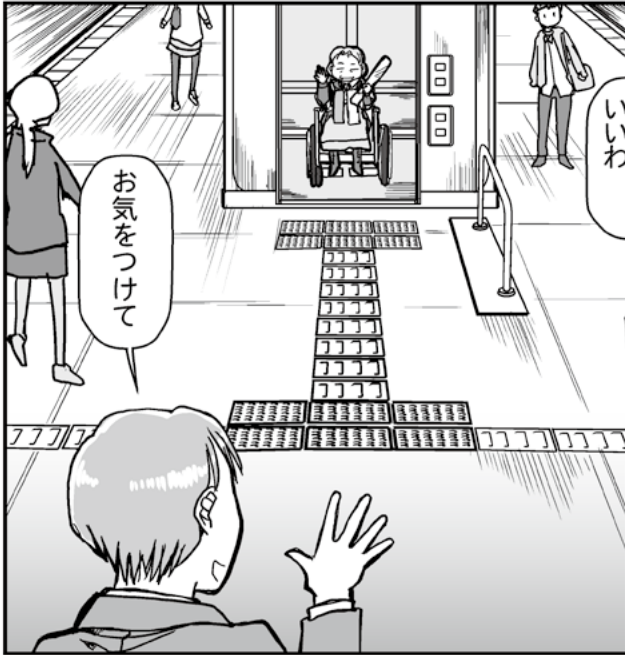
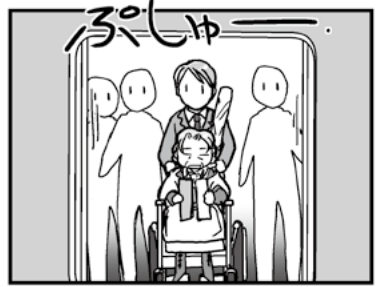
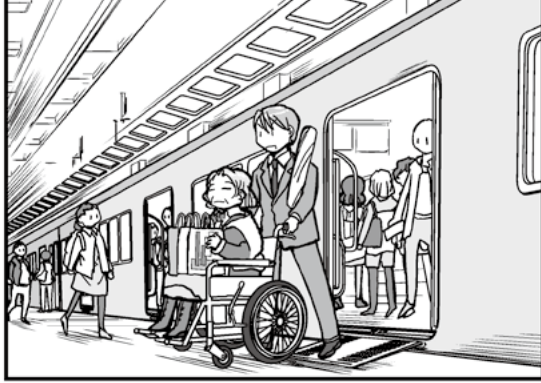














え〜!?
本当に
忘れた〜?

え?

そのカバンを
電車の中に忘れたり
するんじゃないよ

え〜
どうして〜?

!!!



そうだ!

ヘルプ・ミ!
ナウ!!



僕が今どの列車の
どこに乗ってたか
分かるか?

はい

19時31分渋谷発
未来ヶ丘行き快速
6両目
3扉付近
です

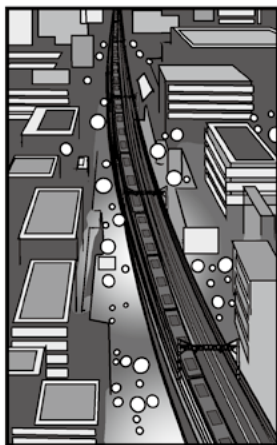
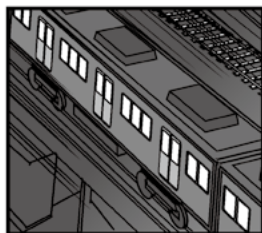
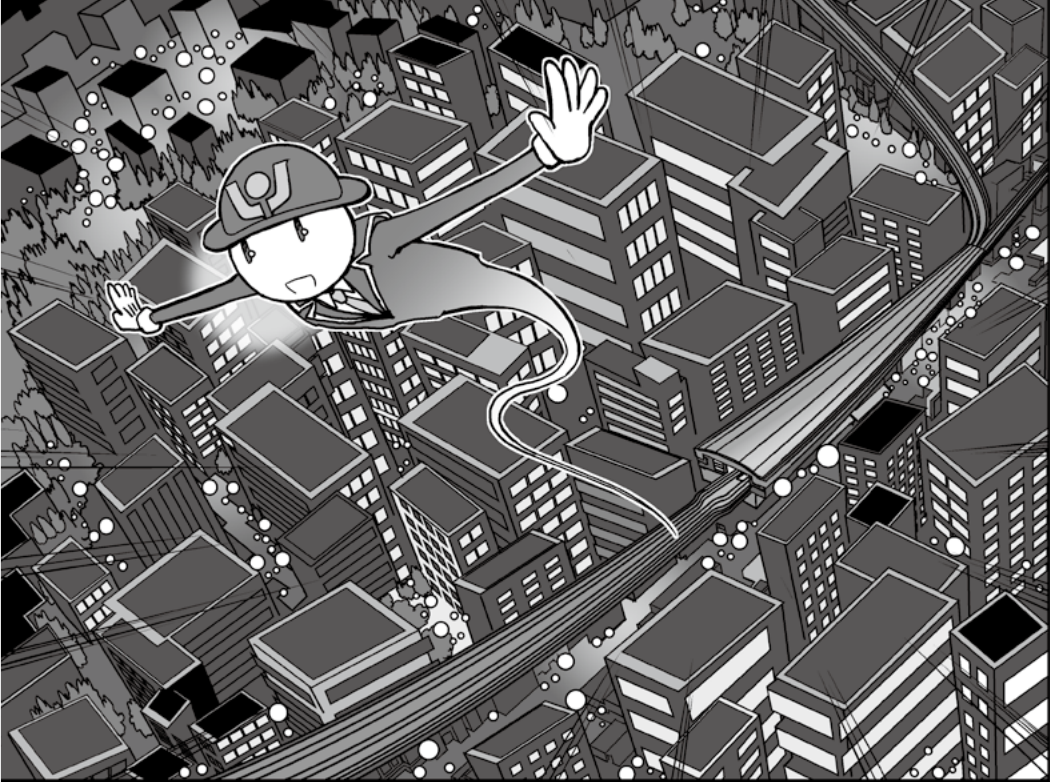
ヘルプ・
リクエストを
受け付けます
ご希望は
なんでしょう?

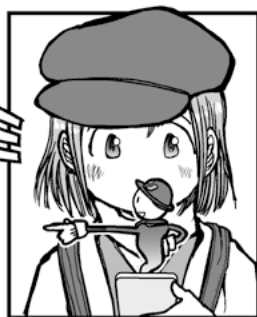
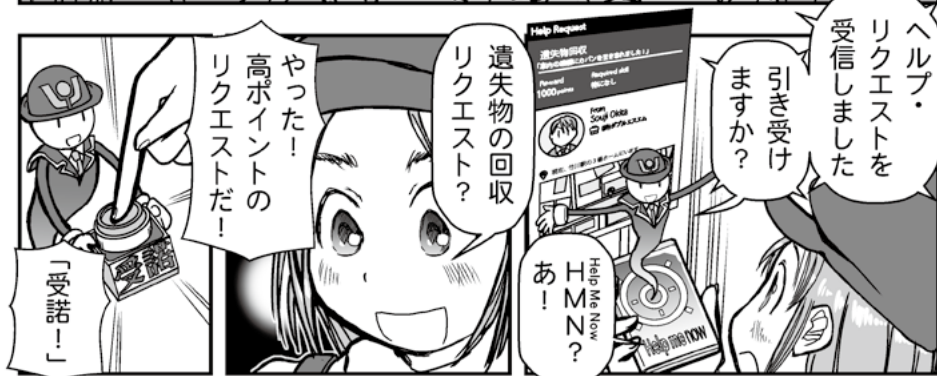
いん

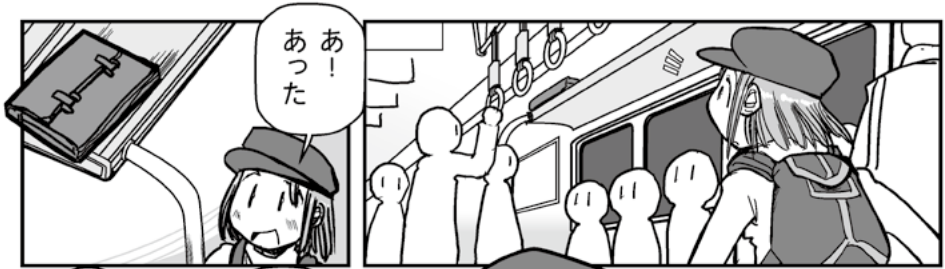
その網棚に
茶色いカバンを
置き忘れた

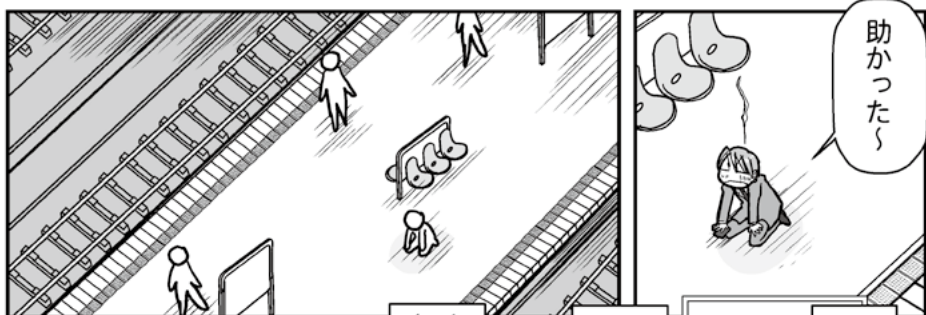
回収して!

了解
しました
ヘルプ・
リクエストを
発信します









助かった



駅周辺の道案内

外国人の通訳

交通弱者の介助

遺失物の回収

少し前までは
これらは駅員の
業務だった

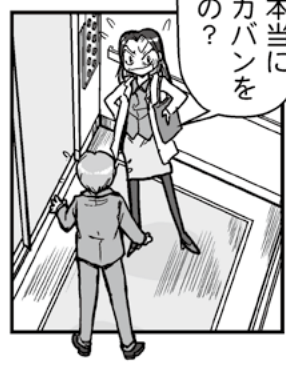
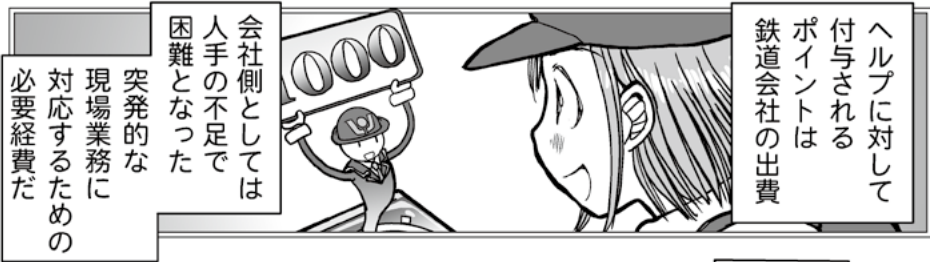


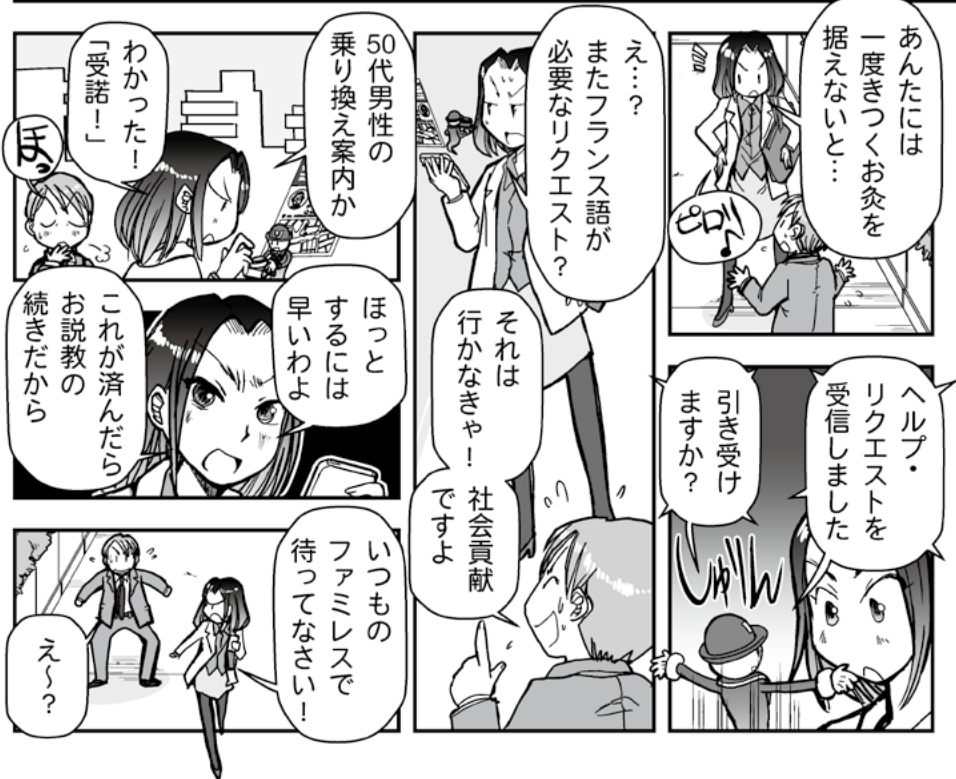
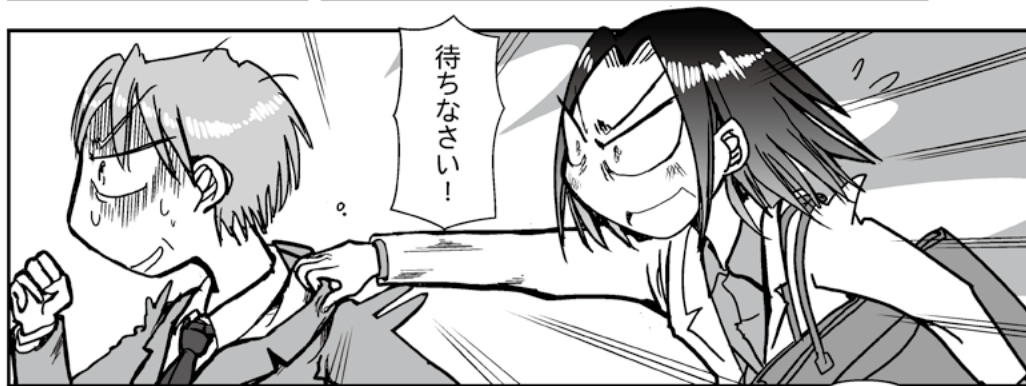
しかし
超少子高齢化
社会の日本では

多くの企業で
働き手が不足
足りない人手を
補うために
生まれたのが

HMN
だった

つまり：社外
の人たちに助力を
求めるアプリだ







おわり

Help me now

日本の都市における公共空間では、生産年齢人口の減少に伴い
道案内や介助といった接客を伴うサービスを提供する働き手が減っていく一方、
訪日外国人旅行者や高齢者をはじめとした
サービスを必要とする人が増えていくことが予想されています。
このような社会課題に対するアイデアが、
「Help me now: 助け合いで廻る街の仕組み」です。
我々はこれがあるべき姿の提案ではなく、
あるべき姿を議論するための叩き台として漫画にしました。
読んで、是非議論に加わってください。

[発行元・原作]

株式会社日立製作所 研究開発グループ

東京社会イノベーション協創センタ

高見真平 吉治季恵 大脇従道 額賀信尾 湯浅直弘 武藤圭史 尾崎友哉

[漫画]

なかせよしみ

[発行日]

第1刷：2018年3月30日

第2刷：2018年7月13日

第3刷：2019年3月1日

